

# 危機管理型水位計

国内販売実績トップ

河川観測用水位計メーカーの長年の経験と実績

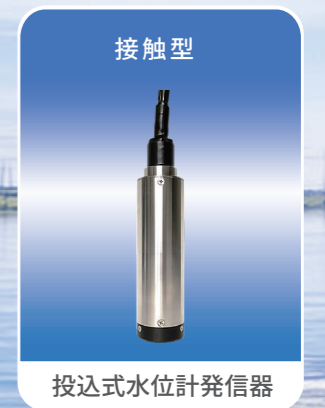
- ✓ 自律型でも! 遠隔設定で動作パラメータの変更が可能
- ✓ ロガー機能強化! 3か月間以上の観測データを保存可能に



無線送信部



電波式水位計発信器



投入式水位計発信器

## 基本仕様

無線送信部		<接触型>投入式水位計発信器	
適合発信器	接触型 投入式水位計発信器 非接触型 電波式水位計発信器	検出方式	半導体センサによる水圧検出方式
入力数	1点	測定範囲	-P1 口形; 0~10 m -P2 口形; 0~20 m
測定周期	監視モード(平常時); 10分 観測モード(洪水時); 2分/5分/10分 移動平均(20秒間/1分間)*1、ゼロ点補正、標高補正、大気圧補正※、重力加速度補正※、密度補正※ ※投入式水位計のみ	精度	-P1 口形; ±10 mm 以内 -P2 口形; ±20 mm 以内 ※空気圧試験 23°C において
水位処理	識別番号、監視・観測時刻、水位、電源監視データ、機器状態監視データ*2	最大許容入力	4 MPa (水深 400 m 相当の圧力)
送信データ	監視モード(平常時); 1日1回死活監視用にデータ送信*3を実行	耐雷	電源とボディ間 10 kV
送信周期	観測モード(洪水時); 測定周期と同じ周期で送信	構造	JIS C 0920 70 m 水中形
制御方式	自律型 ※遠隔設定機能付きは、上位のサーバから以下のタイミングで動作パラメータの設定変更が可能 監視モード(平常時); 1日1回死活監視用のデータ送信の後 観測モード(洪水時); 正時のデータ送信の後	動作温度	-10~60°C
通信仕様	LTE Cat.1 bis NTT ドコモ網、KDDI 網に対応 (両網対応通信モジュール使用)	使用環境	-30~60°C*4
時刻補正	定期的に NITZ または NTP サーバと同期	材質	ボディ ; SUS316L ダイヤフラム ; ニッケル合金
ロガー機能	3か月間以上の観測データを保存	外形寸法	-P 口 1 形; φ60×200 (H) mm -P 口 2 形; φ90×218 (H) mm
バッテリー	小型シール鉛蓄電池 12 V (接触型) 12 Ah (非接触型) 17 Ah	質量	-P 口 1 形; 約 2.2 kg (ケーブルを除く) -P 口 2 形; 約 2.6 kg (ケーブルを除く)
太陽電池	最大出力電力 12 W	<b>&lt;非接触型&gt;電波式水位計発信器</b>	
バックアップ期間	監視モードで9日間無日照のあと、観測モードで150回(測定周期2分、平均時間20秒で5時間)の観測が可能	検出方式	電波検出方式
構造	IP65	設置高さ*5	最大 10.5 m (計測基準面から最低水位までの距離)
動作温度・湿度	-10~50°C、90%r.h. 以下 (内部が結露しないこと)	精度	±10 mm 以内 (自由空間、周囲温度 25°C、金属平板を反射体とした場合)
使用環境	-30~50°C*4	中心周波数	5.8 GHz
材質	本体; PC + ABS 樹脂、取付金具; SUS304	出力電力	35µV/m 以下 at 3 m 自由空間用微弱電波機器 (電波法の届出不要)
本体色	マンセル値 5Y7/1	不感帯距離	0.5 m (不感帯距離は計測基準面からの距離)
外形寸法	無線送信ボックス; 約 300 (W) × 500 (H) × 165 (D) mm 太陽電池 ; 約 350 (W) × 292 (H) × 293 (D) mm	構造	IP65
質量	無線送信ボックス; (接触型) 約 10.2 kg (非接触型) 約 12.0 kg 太陽電池 ; 約 3.6 kg	動作温度	-20~70°C
		使用環境	-30~70°C*4
		材質	ケース ; アルミダイキャスト アンテナ ; SUS316L、PTFE
		外形寸法	φ265 (W) × 584 (H) mm (ケーブルを除く)
		質量	約 4.2 kg (ケーブルを除く)

本カタログに記載の仕様は 2026年 03月 現在のものです。

- <使用上の注意>
- 本製品は本来の用途以外で使用した場合のいかなる事故や損害についても責任を負いかねます。
  - 本書で使用されている会社名・商品名は各社の登録商標または商標です。
  - 本書は万全を期して作成しておりますが、万一誤記等お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。

- 本書の記載内容はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の各社の登録商標または商標には、(TM) マークや (R) マークは表示していません。



自然を計り、自然と共存し、  
技術と創造で人々の安全な暮らしに貢献します

当社は、1852年に中村浅吉測量器械舗として創業し、中浅測器、横河ウェザック、横河電子機器、YDKテクノロジーズと社名変更を経て、気象・水文観測機器の開発・製造・販売を行ってまいりました。  
今後も事業理念をもとに、社会的使命を果たせるよう尽力してまいります。

株式会社 YDKテクノロジーズ  
(旧: 横河電子機器株式会社)

<https://www.ydktechs.co.jp/>



■ 本社 第2営業本部  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-13  
TEL : 03-3225-5364 FAX : 03-3225-5314

■ 関西支店  
〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町 2-1-1  
三井住友銀行高麗橋ビル 7F  
TEL : 06-4706-8026 FAX : 06-4706-8028

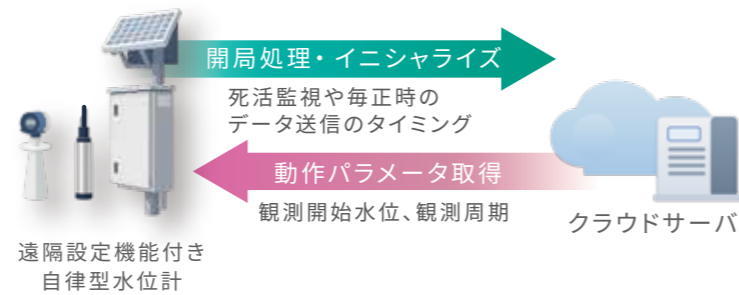
■ 神奈川営業所・カスタマーセンター  
〒257-8502 神奈川県秦野市曾屋 500  
神奈川営業所 TEL : 0463-57-4543 FAX : 0463-84-8799  
カスタマーセンター TEL : 0463-57-5055 FAX : 0463-84-8799

製品名	危機管理型水位計
会社名	株式会社 YDKテクノロジーズ
水位の計測方式	接触型 : 水圧検出方式 非接触型 : 電波検出方式
制御方式	自律型(遠隔設定機能付き)

# 確実な観測を支える自律型・遠隔設定対応 危機管理型水位計

## 現地作業を伴わない運用パラメータ設定

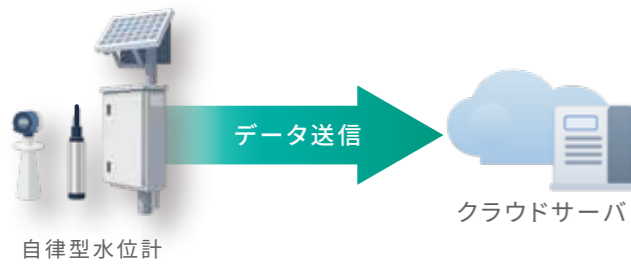
動作パラメータ（観測開始水位、観測周期）を死活監視や毎正時のデータ送信のタイミングで上位サーバから自動で取得。現地作業を伴わずに動作パラメータの変更が可能のため、災害時や緊急時においても安定した観測運用を支援します。



## 観測制御方式の比較（自律型／制御型）

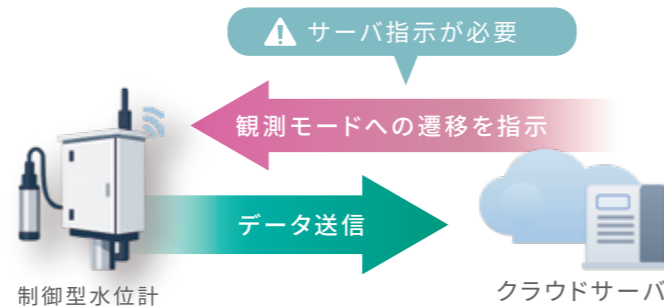
### 自律型：水位計自身で判断して動作

観測開始水位を超える水位を観測すると自動で観測モードへ遷移します。



### 制御型：クラウドサーバから制御が必要

観測モードへ遷移するにはクラウドサーバからの指示が必要です。



危機管理型水位計運用協議会のクラウドなど  
(危機管理型・クラウド水位計 伝送仕様案準拠)

河川情報

LTE

水位センサは接触型と非接触型をご用意



投込式水位計発信器



電波式水位計発信器



無線送信ボックス

# ロガー機能強化による安定した観測運用

## 観測データの確実な保存と回収

- ロガー機能を強化し、内部メモリに3か月以上の観測データを保存可能
- パソコン等の機器を使用せず、USBメモリまたはSDカード※によるデータ回収に対応
- 複数観測局のデータを1つのメディアで回収可能

※SDカード使用時はUSBメモリアダプタが必要です

## 高い精度と信頼性

### データの信頼性

平均時間内の異常値除去により、水位観測データの信頼性を向上させています。

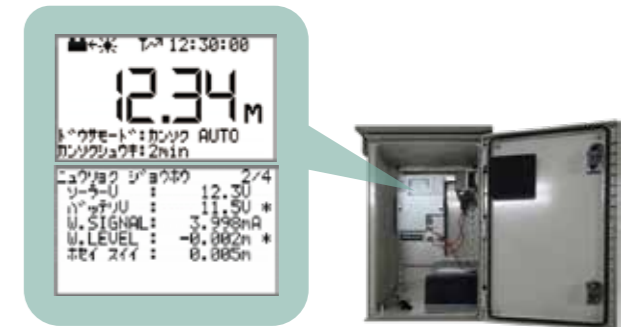
### 高精度な測定

水位補正機能（大気圧補正、重力加速度補正、密度補正）を標準装備し、安定した高精度観測を実現します。

## 優れたメンテナンスと保守性

内蔵液晶画面により、水位や各種状態（機器状態・バッテリー・設定・エラー）を確認可能。

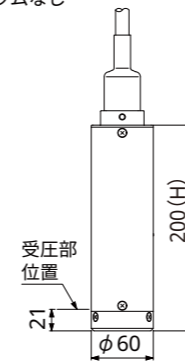
外部機器を使用せず現地で設定変更や保守作業が行えるため、災害時やトラブル発生時でも迅速な対応が可能です。



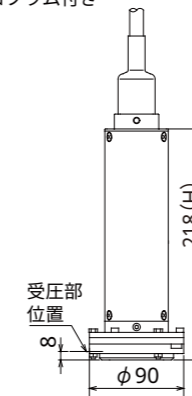
## 外形図（単位：mm）

### <接触型> 投込式水位計発信器

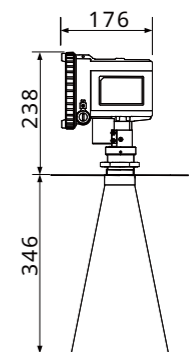
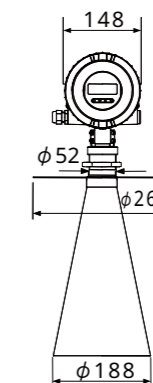
ベロフラムなし



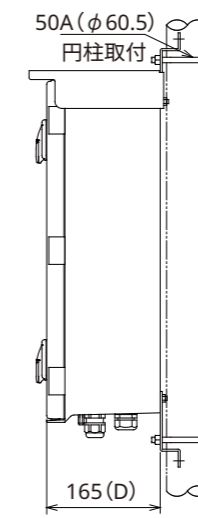
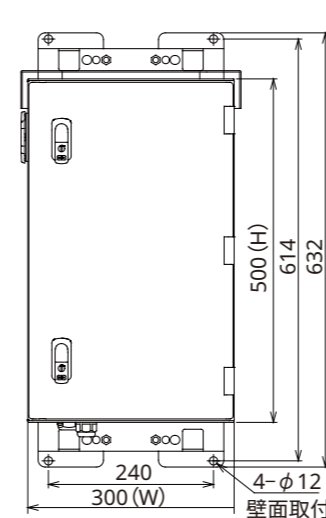
ベロフラム付き



### <非接触型> 電波式水位計発信器



### 無線送信ボックス



### 太陽電池部

